

2026年3月期第3四半期 決算補足説明資料

栄研化学株式会社（証券コード：4549）

2026年1月30日

目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 第3四半期決算概要
3. ROIC向上への取り組み進捗

Appendix

エグゼクティブサマリー

■ 当社業績

- ✓ 前年同期比で増収増益
- ✓ 売上高：主に海外向けの便潜血検査用試薬、および国内外の医療機器が伸長したことにより増収
- ✓ 利益：効率的な経費の使用に加え、第2四半期における連結子会社の持分譲渡益が寄与し増益
- ✓ 通期業績予想に変更はなし

■ 外部環境

- ✓ 世界的な資源価格の高騰、地政学的リスク、米国の通商政策、主要国の金融政策動向など外部環境の不確実性継続
- ✓ 物流費および原材料調達コストの上昇が継続し、事業環境は依然として厳しい状況

2026年3月期 第3四半期決算概要

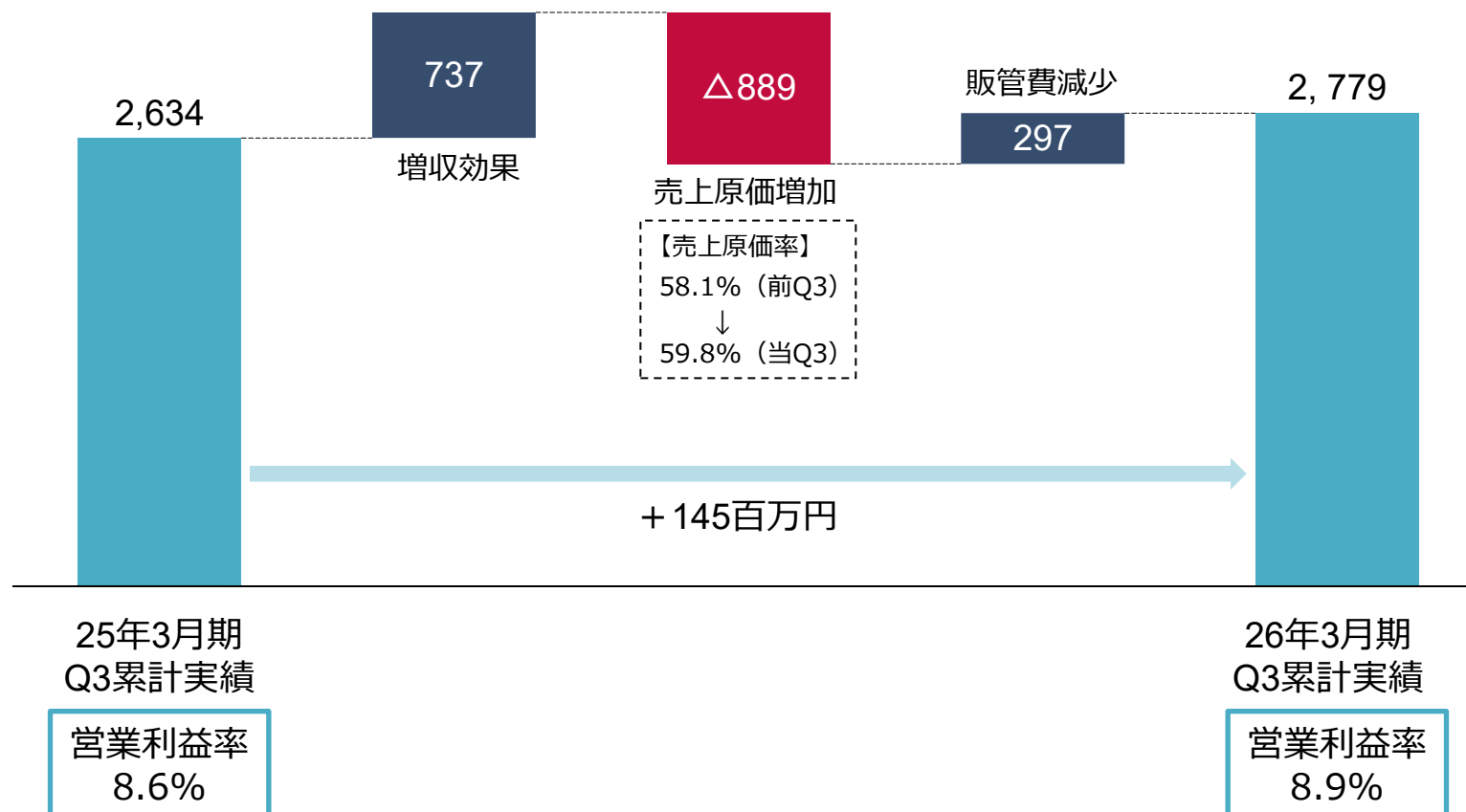
2026年3月期 第3四半期累計業績

		金額単位：百万円					
	25年3月期 Q3累計実績	26年3月期 Q3累計実績	増減額	増減率	26年3月期		
					通期予想	進捗率	
売上高	30,640	31,377	737	2.4%	42,200	74.4%	・便潜血、医療機器が伸長 ・遺伝子関連はUSAID廃止の 影響継続
売上原価	17,866	18,756	889	5.0%	25,150	74.6%	・売上原価率上昇傾向 ・稼ぐ力の強化策効果の遅れ
売上総利益	12,773	12,621	△151	△1.2%	17,050	74.0%	
販売費及び一般管理費	10,138	9,841	△297	△2.9%	13,800	71.3%	・効率的な経費の使用 ・研究開発費の第4四半期集中
営業利益	2,634	2,779	145	5.5%	3,250	85.5%	
経常利益	2,835	2,739	△96	△3.4%	3,100	88.4%	
当期純利益	2,116	3,722	1,605	75.8%	3,770	98.7%	・連結子会社の持分譲渡益を 第2四半期に約20億円計上済
研究開発費	3,096	2,726	△369	△11.9%	4,040	67.5%	

主力製品の便潜血検査用試薬および医療機器の伸長、効率的な経費の使用に加え連結子会社の持分譲渡益の寄与により、前年同期比で**増収増益**
期末に研究開発費の計上が集中することにより、**通期業績予想に変更はなし**

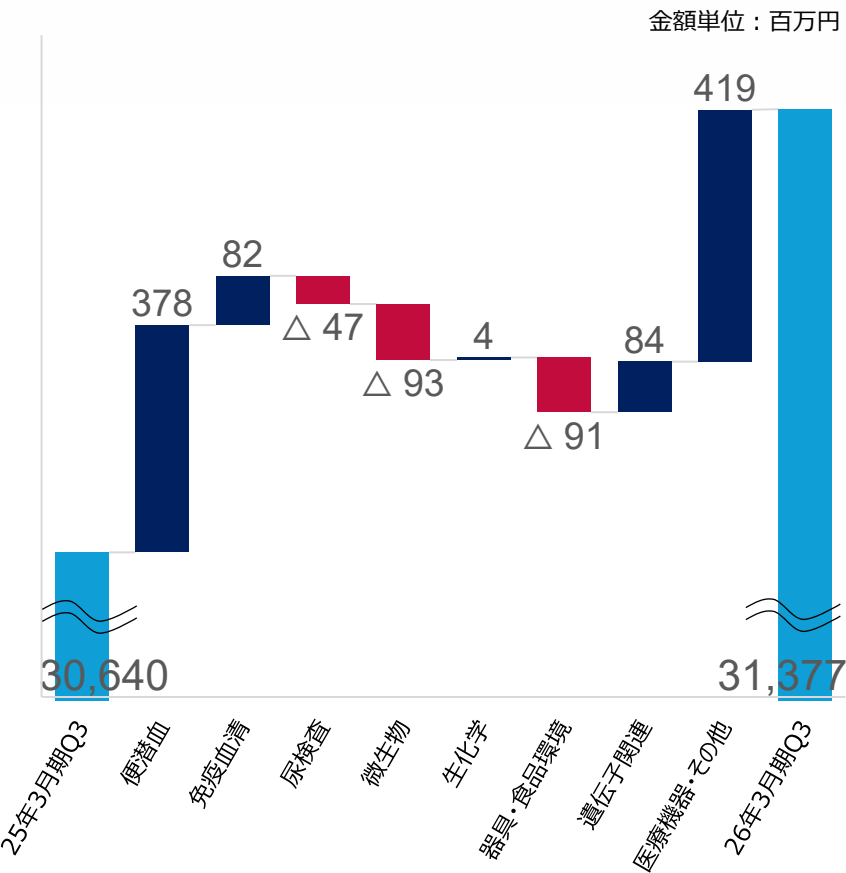
営業利益の増減要因（対前年同期）

金額単位：百万円



- 増収効果：737百万円
- 売上原価増加：△889百万円
売上原価率変動の要因分析
 - ✓ プラス要因
 - ・高収益品（便潜血）の増収による利益押し上げ
 - ・一時的なLAMP特許料収入
 - ・一部製品（器具・食品環境、粉末培地）の値上げ効果
 - ・尿検査用試薬の製造拠点の国内集約による製造効率の改善
 - ✓ マイナス要因
 - ・高収益品（尿検査・POCT）の減収による利益押し下げ
 - ・低収益品（医療機器）の増収による製品ミックスの悪化
 - ・減価償却費の増加
 - ・原材料価格高騰によるコスト増加
- 販売管理費の減少：297百万円
 - ✓ 効率的な経費の使用

セグメント別売上高



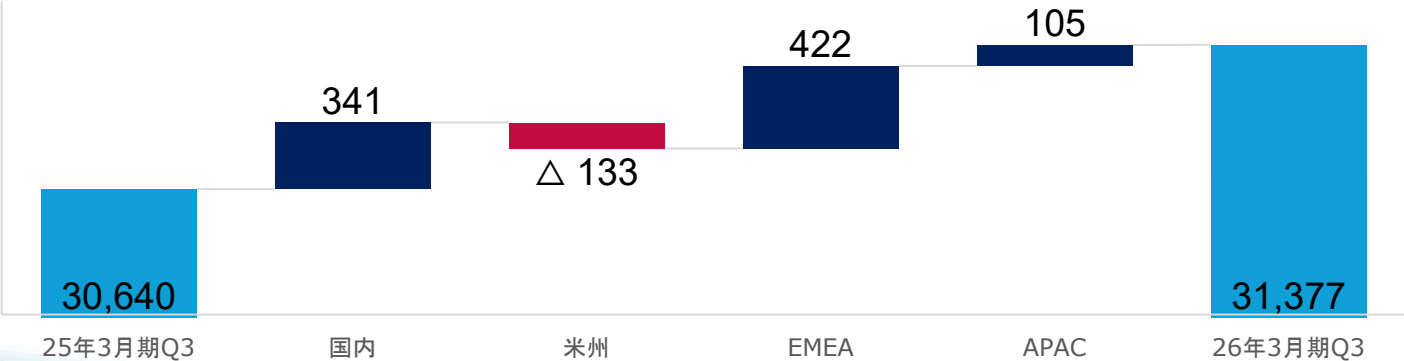
	25年3月期 Q3累計実績	26年3月期 Q3累計実績	増減額	増減率	金額単位：百万円 26年3月期	
					通期予想	進捗率
便潜血	10,076	10,455	378	3.8%	13,640	76.6%
免疫血清（便潜血を除く）	7,546	7,629	82	1.1%	9,680	78.8%
尿検査	3,505	3,458	△47	△1.4%	4,740	73.0%
微生物	3,469	3,375	△93	△2.7%	4,900	68.9%
生化学	455	459	4	0.9%	610	75.2%
器具・食品環境	1,492	1,400	△91	△6.1%	1,860	75.3%
遺伝子関連	1,415	1,500	84	6.0%	2,440	61.5%
医療機器・その他	2,678	3,097	419	15.7%	4,330	71.5%
合計	30,640	31,377	737	2.4%	42,200	74.4%

- ✓ 便潜血：国内外で増収。主に海外向け売上が伸長
- ✓ 微生物：POCT製品、薬剤感受性検査用試薬が減収
- ✓ 遺伝子関連：USAID閉鎖による影響を受け、ナイジェリア向けの結核検査薬（TB-LAMP）の売上が減少。一方で、一時的な特許料収入があり遺伝子全体として増収。
なお、TB-LAMPについては、ロビーイングの効果もあり受注が再開しているものの、国際的な医療保健環境の混乱が継続し、通期業績予想の達成は厳しい見通し
- ✓ 医療機器：便潜血検査用装置、および東ソー(株)から導入・販売している免疫血清検査用装置が増収

地域別売上高

	25年3月期 Q3累計実績	26年3月期 Q3累計実績	増減額	増減率	金額単位：百万円	
					26年3月期 通期予想	進捗率
国内	22,772	23,114	341	1.5%	30,150	76.7%
海外	7,868	8,263	395	5.0%	12,050	68.6%
海外売上高比率	25.7%	26.3%	—	—	—	—
合計	30,640	31,377	737	2.4%	42,400	74.4%
米州	1,926	1,793	△133	△6.9%	2,530	70.9%
EMEA	2,986	3,408	422	14.2%	5,260	64.8%
APAC	2,956	3,062	105	3.6%	4,260	71.9%

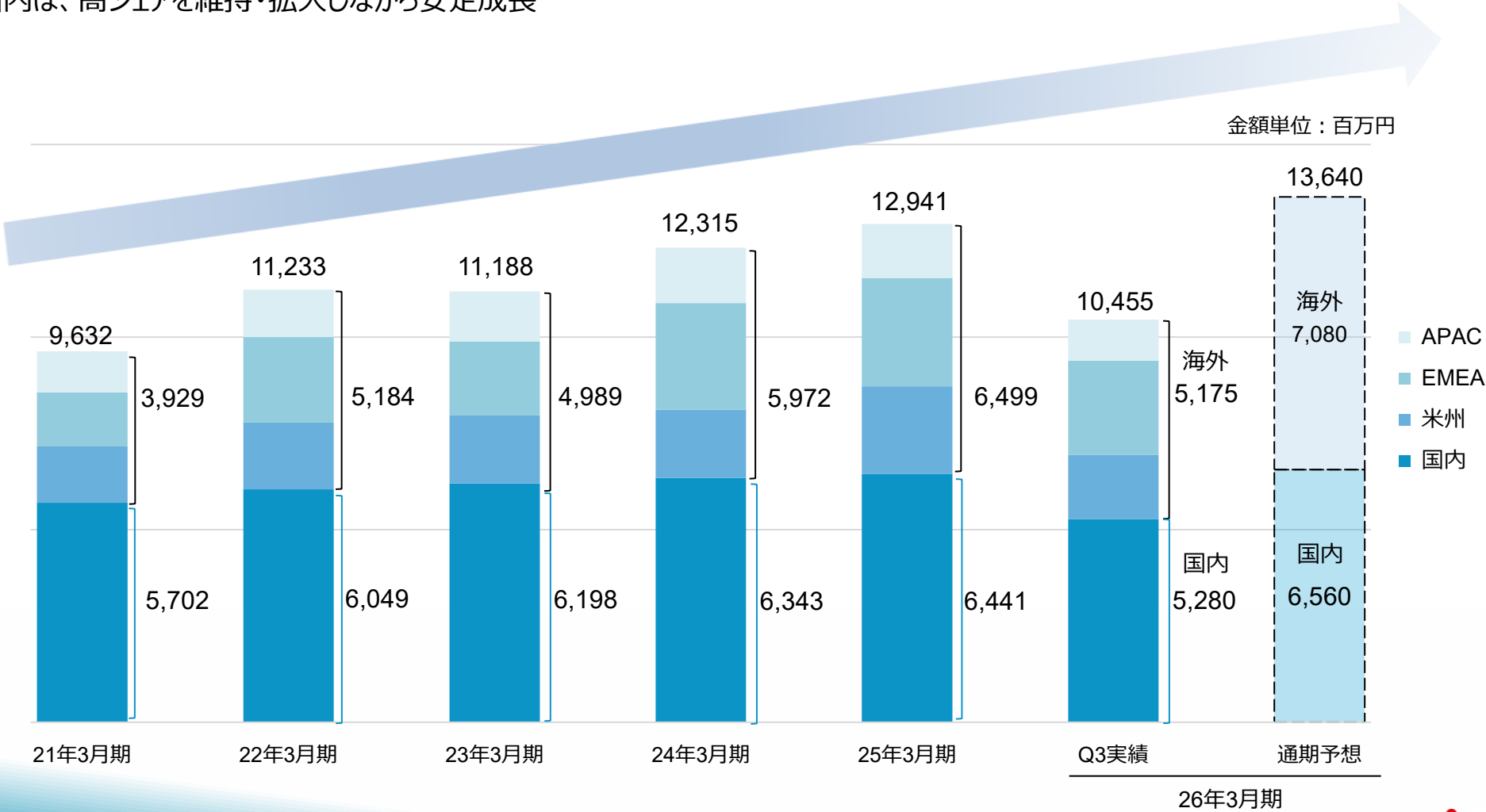
- 【国内】
✓ 便潜血検査用試薬、および東ソー(株)から 導入・販売している免疫血清検査用試薬・装置等の売上が増加
- 【米州】
✓ 便潜血検査の対象年齢拡大、内視鏡トリアージ、化学法から免疫法へのシフトによる需要増加の流れは継続しているが、装置切替タイミング等による一時的な出荷減あり
- 【EMEA】
✓ 便潜血検査用試薬・装置が伸長
対象年齢拡大や採便容器配布方法拡充などが寄与
✓ イングランド、フランスのFIT国家スクリーニング継続獲得
イングランド：26年7月更新
フランス：26年2月更新
フランスは25年6月より対象者全員に採便容器を配布
✓ USAID閉鎖の影響によりTB-LAMPの販売が遅延
- 【APAC】
✓ 主にアジアの便潜血検査用試薬が伸長
✓ 海外向け尿検査用試薬は減収



米州：北米および中南米
EMEA：欧州およびアフリカ・中東・ロシア [途上国向け結核検査薬（TB-LAMP）は欧州地域に含む]
APAC：アジア・オセアニア [海外向け尿検査用試薬（シスメックス(株)との提携）の売上はすべてアジア地域に含む]

主力製品：便潜血検査用試薬の売上推移

- ✓ 主力製品である便潜血検査用試薬は、海外を中心に順調に売上が伸長
- ✓ 25年3月期より、国内売上高と海外売上高が逆転し、海外売上比率が拡大
- ✓ 国内は、高シェアを維持・拡大しながら安定成長



ROIC向上への取り組み進捗

収益力の強化

中計
28年3月期
目標

営業利益率改善
5.2pt

- ✓ 原価低減施策は、主要施策が計画よりも遅れて進捗し、全体として効果発現がやや遅延
- ✓ 中計目標達成に向け、高利益品目への投資強化および拡販施策の推進に重点を置き、収益性向上に向けた取り組みを加速

	施策	28年3月期 営業利益率 改善目標値	26年3月期Q3 進捗状況
原価 低減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主力・収益・育成製品群への集中投資 ・ 新製品・改良品上市・拡販 ・ 低収益製品群の整理・撤退 ・ 製品剤型の整理・改廃 ・ 需要予測の精度向上 ・ 工場ロスコストの削減 ・ 尿検査、免疫血清検査の生産拠点を野木工場へ集約 ・ データ駆動型スマートファクトリーへの取り組み 	+ 2.0 pt	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 主力製品のFITおよびカルプロテクチンの拡販は好調 ✓ 収益製品群であるPOCT製品拡販が想定したスピードと乖離。目標達成に向けて従来戦略に加え新たな施策を加速 ✓ 低収益品（製品群）の器具品および粉末培地について、全品目数の40%を市場適正価格に改定し、売上原価率を全体で0.1pt改善 ✓ 尿検査用試薬の製造拠点を中国から野木工場へ集約を完了し、尿試験紙の売上原価改善 ✓ 新製造棟（ICPP棟）稼働、9月よりバリデーション開始
販管費 低減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品ポートフォリオに基づく委託研究費の適正化 ・ 人員構成・要員計画の最適化による労働生産性の向上 	+ 3.2 pt	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 売上高人件費率 26年3Q 前年同期比 △0.7pt

（参考）営業利益率 25年3月期実績 7.4% → 28年3月期目標 12.6%

運転資本回転率（CCC）の最適化

中計
28年3月期
目標 **85日**

25年3月期 106日 → **26年3月期目標 102日**

26年3月期Q3進捗および通期目標への対策：

- ✓ 売上債権回転期間 主要取引先との取引を順次電子債権取引へ切り替え、資金化までのリードタイムを約4日短縮することでキャッシュフローを強化
- ✓ 棚卸資産回転期間 USAID閉鎖に伴うTB-LAMPの受注遅延により、原材料および中間製品の在庫が一時的に増加するも11月受注分の出荷により一部解消。また、機器在庫は計画通りの販売により在庫圧縮

Appendix

連結貸借対照表

金額単位：百万円

	25年3月末	25年12月末	増減
現金および預金	9,873	5,920	△ 3,952
営業債権およびその他債権	11,741	12,663	922
その他の金融資産	0	0	0
棚卸資産	8,500	8,817	316
その他の流動資産	1,416	2,067	651
流動資産 計	31,532	29,469	△ 2,062
有形固定資産	22,121	23,575	1,453
無形固定資産	670	388	△ 281
投資その他の資産	8,048	6,775	△ 1,272
固定資産 計	30,840	30,739	△ 100
資産 合計	62,372	60,209	△ 2,162

	25年3月末	25年12月末	増減
営業債務およびその他の債務	8,489	8,235	△ 254
その他の流動負債	5,886	6,875	989
流動負債 計	14,376	15,111	734
固定負債 計	4,397	1,352	△ 3,045
負債 合計	18,773	16,463	△ 2,310
資本金	6,897	6,897	0
資本剰余金	7,892	7,892	0
利益剰余金	34,700	30,898	△ 3,802
自己株式	△6,756	△2,242	4,513
その他の包括利益累計額	505	211	△ 294
新株予約権	358	89	△ 268
純資産 合計	43,598	43,745	147
負債および純資産 合計	62,372	60,209	△ 2,162

Saving Your Health



EIKEN CHEMICAL CO., LTD.

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。